



元氣とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2018年07月23日 第879号「週刊五十嵐レポート」

## 芸人先生「ビジネス基礎講座」

NHK・Eテレ4月～7月で「芸人先生ビジネス基礎講座」を放映中。人気芸人が有名企業を訪ねて、社員研修を行ない、仕事に活かせるノウハウを提供。

漫才の「U字工事」(栃木県出身)と「カミナリ」(茨城県出身)が講師となり、埼玉県所沢市にある「山田うどん」を訪ねた。(うどん業界店舗数全国4位)

まず社員からの悩みを聞いた。「埼玉県の当社はダサイ」。「埼玉は都会でもなく、田舎でもない」。「美味くもなければ、まずくもない。普通」。

埼玉県の名産は？と聞くと答えられない。「ねぎ、小松菜、里芋では全国1位。うどんの生産量は香川県に次いで2位」を伝えると、社員はどよめいた(知らなかった)。山田うどんのウリは何かと聞くと、みんな困ってしまい、「ウリはない」と答えた。

「U字工事」から、「ローカルはメリットだらけ」。最初、東京で漫才をするとき、標準語でやっていたが、ウケなかった。大阪から強い漫才が東京へやってきた。このままでは勝てない。栃木なまりと栃木県産を扱ってから活路を見出し、露出が増えた。山田うどんは埼玉代表になるべき。メニューに深谷ねぎなど埼玉名産を入れる。「埼玉に行ったら山田うどんに行こう」と思わせる。(栃木県宇都宮市といったら、餃子など)

「カミナリ」から、「インパクト」。「カミナリ」は茨城なまりとどつき漫才で売れた。山田うどんのウリは2つ。1つはやわらかいうどん。食べやすい。ツユが良く沁みる。コシのある讃岐うどんとは差別化になる。2つ目は、「カロリーのK点越え」(量が多い)。今の風潮は、ヘルシーやカロリーオフ。その真逆を行っている。たくさん食べたいという言葉を発しない多くの消費者をつかむことができる。

売れている芸人は、差別化を発揮し、オンリーワンになってそれぞれの住処を作っている。最初は東京に同化しようとして失敗した。足元を見つめ、持っていないものではなく、持っているものを発揮する。差別化とは、他との違いを明確にし、独自性を積極的に示すこと。ビジネスに通じる。

ちょっと  
気になる出来事

「無知の知」。

論語の中で孔子は、「知っていることは知っている。知らないことは知らないと素直に言えるのが、本当に知っていることだ」と言っている。

ソクラテスは、「自分の無知を自覚することが真の知にいたる出発点である」と。

戦略社長塾に初めて参加された社長の感想、「自分は何も知らず考えずに経営をしていた事を強く感じた。戦略と戦術の違いを学んでいかなければいけないと思った。働く仲間のためにも学ぶ大切さを感じた」。

素直に、謙虚に、「知らない」と受け止める。自覚するところから成長・進化がはじまる。

「知らない」ということを発見できたことは、うれしいことなんだ。

私はまだ成長できる、と。



一口メモ  
知識

## 病気はチャンス

病気になるのは、つらいことです。

しかし、「ああ、人生とはこういうものか」と気がつくチャンスなのです。

重い病気になって、いままでの生き方をふりかえります。

今までやってきたことの意味を、考えるようになります。

いくら大成功者として生きていても、病気というたった一つの原因ですべてが離れてします。それらは自分のものにはなっていないのです。

そのとき、悩んだり絶望したりせず、気持ちを切り替えて、

残された人生を心穏やかに過ごすように努力すればいいのです。

「ブッダの教え一日一話」(PHP研究所/アルボムッレ・スマナサーラ)より

「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時

「戦略社長塾東京」小岩校 土曜隔週(第2・第4) 午後2時～6時

「戦略社長塾東京」銀座校、五反田校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

03-3659-7703 Fax03-3659-7077 i-daruma@igarashireport.com

